

2023年1月から始まった留学生活も今月で5か月目、折り返しとなりました。今回の留学レポートでは、学期末テストやアメリカの卒業式、そしてこの4か月間住んでいた大学の寮、Weaver Hallについて書いていきたいと思います。

1. 学期末テスト・レポートについて

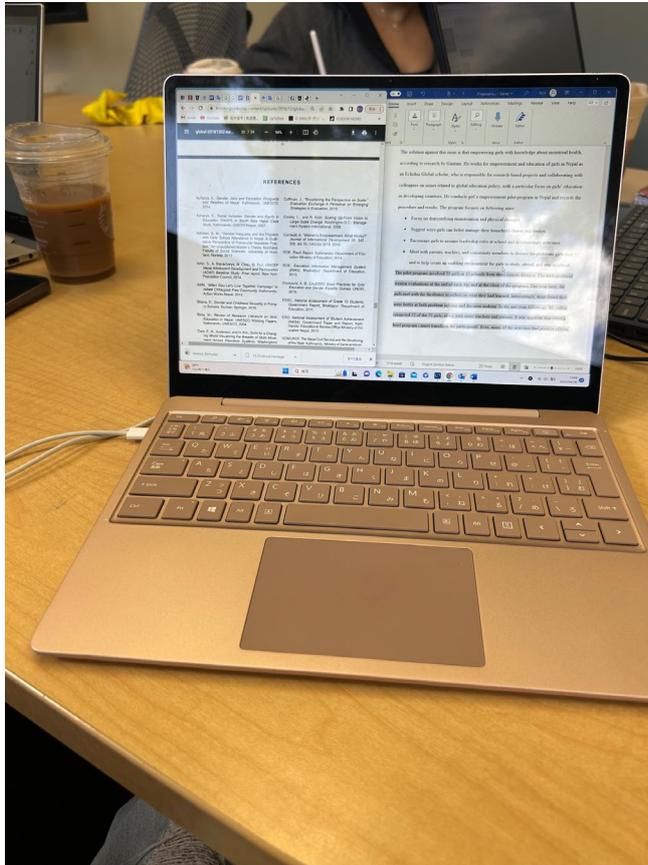
1月から始まったSpring semesterも終わりに近づき、レポートや試験などが増えて来ました。4月の最終週から5月の最初の週にかけて、それぞれの授業で大きな課題が出されたりfinal examinationが行われたりします。初めてのfinal weekに不安を感じていましたが、友達にアドバイスをもらい勉強を続けたところ最終的には全てのクラスで成績Aがとれました。授業に休まず出席し課題や予習復習にきちんと時間を取れば、英語オンリーかつ自分の専攻外の授業でも誰でも良い成績を取ることができると思います！私が今回経験してみて大切だと思ったポイントを3つご紹介します。

1) 先生と積極的にコミュニケーションをとる

交換留学生として、やはりどれだけ時間をかけて勉強しても英語の壁は高く感じます。特に授業でアカデミックな内容を扱っていると、単語一つ一つを理解するのに膨大な時間がかかります。前のレポートでも書いたかもしれませんが、私は学期の最初の授業で先生とお話しし、①自分が交換留学生で英語が母国語ではないこと、②理解のために授業を録音していいかを伝えていました。また、学期中にエッセイの課題がいくつか出る授業があったのですが、その前にはなるべくオフィスアワーに行って、先生や学生のサポートをしてくれるTA(Teaching Assistant)に相談するようにしていました。そうすることで先生には積極的に授業に参加する生徒、という印象を持ってもらえると思います。テストの際には、相談して時間を延長してもらうこともできました。先生との信頼関係を作ることにはメリットしかないです！！

2) 授業で友達を作る

各授業に友達がいると、ノートを共有してもらえたり一緒に勉強できたりします。自分ではわかっているつもりでも、誤解しているところや気づいていなかった情報を教えてもらえるのでとても良かったと思います。仲良くなりたい学生がいれば、自分からどんどん話しかけることが大切です。また、もし授業に他の留学生がいれば仲良くなりやすいと思います。



図書館には予約して借りられる勉強部屋がたくさんあります

3) Quizletなどを活用する

インターネットで【授業名、UF】と検索すると試験の過去問やQuizletというアプリ状の問題集が出てくることがあります。Quizletはフラッシュカードで用語の意味を覚えられるので、とても使いやすいです。授業で出されている教材ではないので使用は自己責任にはなりますが、問題演習ができる便利なツールになると思います。Quizletで自分用のフラッシュカードを作るのもおすすめです。

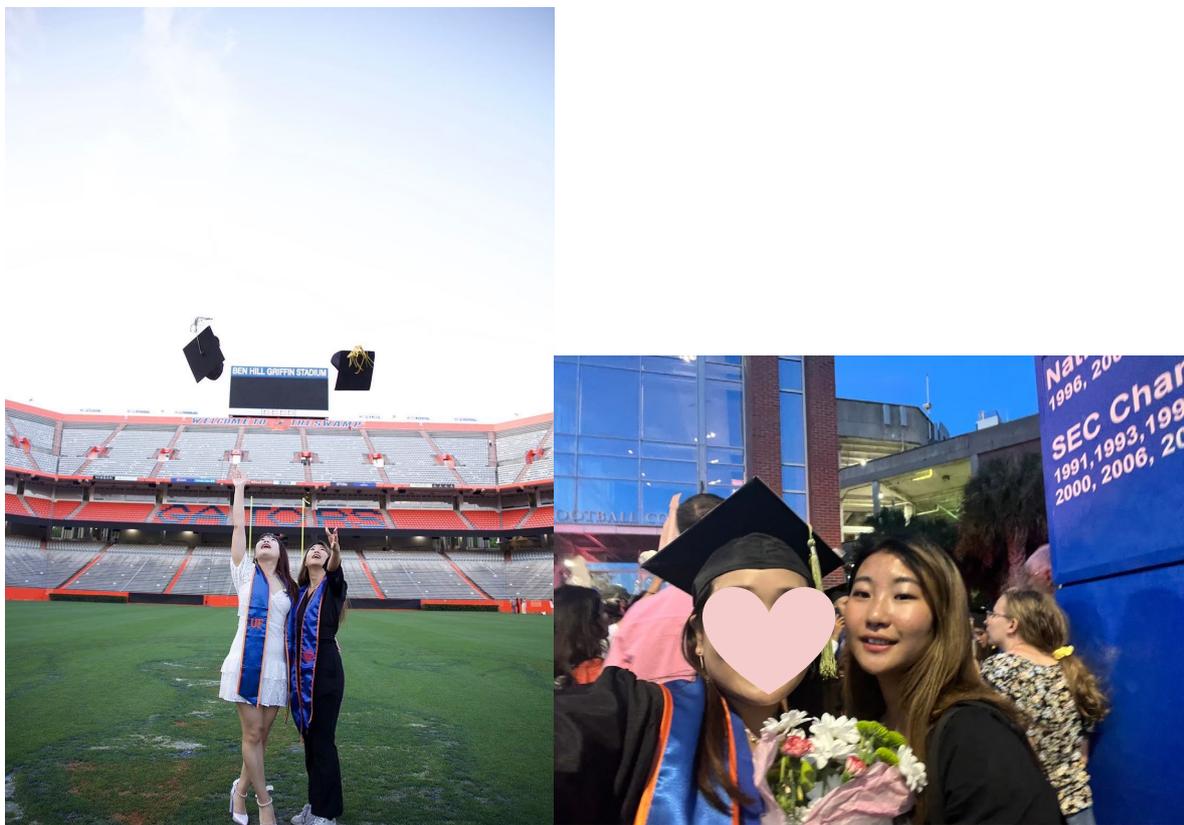
2. アメリカの卒業式

アメリカの卒業シーズンは、5月の最初の週です。今回は友達の卒業式に参加する機会がありましたが、日本とは違う点が多くとても面白かったので紹介したいと思います。まず、服装はガウンとキャップです。ガウンの中には女性はドレス、男性はスーツを着ている人が多かったです。キャップにはタッセル(房飾り)がついており、人によって色とりどりで綺麗です。さらに首には大学のロゴが入った布をかけます。この布にはバリエーションがあり、自分が所属するクラブのものを使っている人や、自分の出身国をイメージした布を使っている人もいました。さらに、キャップに花やリボンなどをつけ、自分の好みにアレンジしている人もいました。



フロリダ大学では、学部ごとの卒業式と全体の卒業式が行われます。全体の卒業式は野外のフットボールスタジアムで行われ、元オリンピック選手の卒業生がゲストとして登場するなどとても大規模でした。学部ごとの卒業式では卒業生の名前が読み上げられ、学生がラン

ウェイのようになった舞台を一人ひとり歩いていくのが印象的でした。このランウェイを歩いている時に、式に出席している家族や友達が拍手をしたり歓声をあげたりしていて、日本との違いに驚きました。アメリカの卒業式は日本よりも賑やかでお祭りのような雰囲気がありました。



私は卒業生ではありませんが、友達の写真撮影で帽子を投げさせてもらいました！

3. Weaver Hallについて

この4か月間住んでいた大学の寮、Weaver Hallも引っ越しの 때가近づいています。5月からはシェアハウスに移る予定です。Weaver Hallは留学生のための寮です。色々な国から来た人たちと出会い、思い出を作ることができました。寮でルームシェアをするか一人部屋にするかは、寮に入る手続きをするときに選べます。一人部屋は先着順だそうなので、希望する人は早めに申し込んだ方が良いでしょう。私はルームメイトと交流したいと思ったため、一人部屋は選びませんでした。最初は自分のプライベートな空間が無いことにな

なかなか慣れませんでした。時間がたつと生活リズムもつかめ楽しく日々を送ることができました。シャワー、トイレ、キッチンと同じフロアの人と共有するため、順番待ちをしなければいけないこともありましたが海外での共同生活は貴重な経験になりました。特にキッチンが私のお気に入りの場所でした。中国、韓国、フランス、イギリスなど色々な国の料理を見ることができ、時にはお互いの料理をシェアするなどして毎日交流するのがとても楽しかったです。寮の地下にはbasementという大きな部屋があり、友達とビリヤードなどで遊ぶことができました。また、ルームメイトはアメリカ人で、課題で困っているときに助けられたり一緒に大学のイベントに参加したりなど、留学生活に無くてはならない存在でした。アメリカで寮ではなくアパートに住むという選択肢ももちろんありますが、私はWeaver Hallに住み世界各国に友達を作ることができて本当によかったと思います。



Weaver Hallの外観です



ルームメイトと写真撮影をしました